

**私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。**

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	夢の樹みどり			第三者評価受審年度	令和元年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度9月作成)	実施状況 (令和元年度10月時点)	実施状況 (令和元年度末時点)	
利用者の可能性を引き出す、新規作業活動の確保と支援内容の充実を図ることが期待される。	利用者の働く権利を尊重し、働く活動をベースに、働くことと安全の確保の両立を目指して取り組んできた。課題は多いものの、個々のニーズに合わせて、利用者が楽しくやりがいを感じながら働けるよう支援内容と作業の充実に取り組んでいる。	より利用者が楽しくやりがいを感じながら働けるよう、新規作業の開拓と支援内容の充実に取り組む。	利用者への支援内容の充実に向けて取り組んでいるほか、令和元年12月より、市から減免パック作成作業を受注する予定である。	継続して利用者への支援内容の充実に向けて取り組んでいる。市から減免パック作成作業を受注することはできなかったが、令和2年度に使用済み小型家電回収作業を受注することができた。	
職員のスキルアップのための、方針・業務標準の明確化の検討が期待される。	職員一人ひとりの成長目標が明確となるように、年度毎に職員研修・育成計画を作成しているほか、事業計画内に人材育成という項目を設け、職責ごとの重点目標を提示している。しかし、それらに基づく現場での指導が不十分である。	引き続き、職員研修・育成計画の作成と職責ごとの重点目標を職員へ掲示することにより、職員一人ひとりの成長目標を明確にするとともに、それらに基づく現場での指導を徹底して行う。	職員研修・育成計画及び職責ごとの重点目標に基づき、職員一人ひとりに対する丁寧な指導を始めたところである。	施設長とグループリーダーで密にコミュニケーションを取り、職員一人ひとりの重点目標を共有しながら、現場での指導を継続している。	
継続して行っているヒヤリハットの分析をより深め事故防止につなげる取り組みが期待される。	半期ごとにヒヤリ・ハットの状況、時間、発生場所などをまとめ、その結果を職員と共有し、その結果を支援に活用している。	引き続き、半期ごとにヒヤリ・ハットの状況、時間、発生場所などをまとめ、その結果を職員と共有し、その結果を支援に活用する。	令和元年度上半期のヒヤリ・ハットの状況、時間、発生場所などをまとめ始めたところである。	令和元年12月の職員会議で、令和元年度上半期に発生したヒヤリ・ハット結果を職員と共有し、その後の支援に活用した。	

※この様式は、「小平市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。